



The Hitoyoshi Rotary

人 吉

通 算 2753回
2013年6月7日
第43回例会
毎週金曜日

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

会報編集 山田仁法副委員長

2012-2013年度 R I 会長
田 中 作 次

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

6月ロータリー親睦活動月間

点 鐘	渡辺洋文副会長
歌 唱	ソングリーダー 石蔵尚之委員 国歌 「君が代」 R S 「奉仕の理想」
司会・進行	平田プロگرام委員長

会長の時間

渡辺洋文副会長



山賀会長がベトナム訪問中ですので、代わりに会長の時間をさせていただきます。

ロータリーでも最近IT化IT化と叫ばれていますが、何を持ってIT化と言うのか？IT化することで

何が出来るのか？と言う事をまず知る必要があるのではないかと思います。少なくともiPadを買う事がIT化では無いと思います。

まず、皆さんにご質問したいのですが、

- ①自宅でも会社でもいいのでパソコンが有ってインターネットに繋がっていると言う人
- ②インターネットで買い物をした事が有ると言う人
- ③You tubeを見た事がある人
- ④Blogを書いている人
- ⑤Twitterをやっている人
- ⑥Facebookをやっている人
- ⑦人吉ロータリーのホームページを見た事がある人

今世界の人口が約70億人ですが、パソコンが有ってインターネットに繋がっている人が約20億人と言われています。パソコンもインターネットも知らない人が約50億人居ると言う事です。20億人のインターネット利用者の

中でface bookを利用している人が何人くらい居ると思いますか？約8億人だと言われていいます、今も増え続けていると思いますが、20億人の中の8億人ですから、とんでもない数ですよ。

日本ではどうかというと、インターネット利用者が約1億人、face book利用者が約500万人と言われていますが、かなり少ないですよ。原因としてはface bookの日本語化が遅れた為だと思いますが、今後益々増えていく事は間違いないと思います、face bookの話は又機会が有ったらしたいと思いますが、今日は時間がありませんので、ロータリアンとしてインターネットを利用して何が出来るのかと言う事を2つ紹介したいと思います。

まず1つ目は、ロータリージャパンのホームページの会員専用ページから、24時間365日何処にいても寄付が出来ると言う事です。

2つ目は東京米山Eクラブのホームページで、24時間365日何処にいてもメイクアップが出来ると言う事です。

この24時間365日何処にいてもと言うのが、IT化のメリットの1つだと言う事を覚えておいて下さい。

www.rotary.org/ja/ このホームページの会員アクセスをクリックするとログインページが表示されますので、アカウントの作成でメールアドレスとパスワードとアカウントを設定すると、会員専用ページに入ることが出来るようになります。会員専用ページのメニューから寄付を選択することでオンラインで寄付をすることが出来るようになります。東京米山Eクラブのホームページのメイクアップのバナーをクリックすると、メイクアップのページが表示されますので、クラブ名・地区番号・氏名・メールアドレスを入力して送信すると、IDとパスワードがメールで送

られて来ますので、そのIDとパスワードをメイクアップのページに入力してログインしメイクアップフィー1,000円を1週間以内にクレジットか送金で決済して、例会閲覧後意見や感想を投稿して「メイクアップ発行ボタン」を押して申請すると、メイクアップ証明書がメールで送られて来ます。機会があったら是非試してみてください。

幹事報告

浅野 強幹事

【連絡事項】

1. 2015～2016年度ガバナーノミニー候補者推薦提出期限延長について；提出期限を2013年6月28日（金）まで、1ヶ月延長する
2. 地区協議会・新世代部会の報告書 [馬場次年度新世代委員長へ]
3. 国際RC日本事務所の移転と奉仕室の名称をクラブ地区支援室へ変更連絡[掲示板へ]
4. 多良木RCより5月11日開催IMへの参加お礼[掲示板へ]
5. 牛深RCより50周年記念式典への出席お礼[掲示板へ]
6. 次週と次々週は例会後クラブ協議会を開催します。次週はクラブ運営の各委員会、次々週は奉仕プロジェクト委員会の予定でお願いします。都合の悪い委員会は次週水曜日までに連絡をお願いします。
7. お願い事項2点：
いよいよ最後の月となり、28日が最終例会で最後の平日となります。会計を締めなければなりませんので会費等の入金を25日を目処にお願いしたく宜しくお願いします。最後に申し上げにくい事ですが、先週の賀寿会で予算外の支出（請求）がありました。ワイン等を注文される場合、次年度から必ず連絡し承諾を得るか、個人負担かを告げて注文するようにしましょう。

【回覧物】

多良木RC、指宿RC、熊本水前寺RCの会報
総合病院の広報誌 やまだの作文41集
広報とは、の冊子[次期馴田広報委員長へ]

【例会変更、取止め】

多良木RC、指宿RC、熊本水前寺RCの変更連絡
[掲示板へ]

《 寄付の申し出 》



友永和宏会員より、大分大学医学部臨床教授の称号を付与されたことを記念して、R財団、米山記念奨学会へご寄付がありました。

出席率報告

馬場貞至委員長

本日の出席率			
会 員 数	66名	64.52%	
出 席 免 除	4名	5/24例会出席率	93.55%
欠 席 者 数	22名	補 填 数	4名
出 席 者 数	40名	修 正 出 席 率	100%

***届け出欠席**

田中・宮山・山賀・井手・伊久美・中村・堤正・片岡啓
鳥井・中川・中島・宮原・山田・和田・戸高・有村・丸尾
立山・小林祐・齊藤・外山・鳥越

***出席免除会員** (b) 増田, 愛甲, 山本, 釜田,

***メイクアップ**

牛深RC50周年；山賀・浅野・武末・中川

会務報告

【親睦委員会】

漆野智康委員長

6月の誕生祝い

塚本哲也会員	7日	木村正美会員	26日
葉山稔洋会員	29日	戸高克彦会員	29日

6月の結婚祝い

宮山 惇会員	4日	延岡研一会員	21日
--------	----	--------	-----

5月ゴルフ成績 5月12日 球磨CC

RANK	NAME	TOTAL	H・D	NET
優勝	堤 脩	93	24	69
準優勝	青木一幸	91	18	73
3位	漆野智康	83	7	76
4位	塚本哲也	85	8	77
5位	鳥井正徳	91	12	79
BB	尾方芳樹	敢闘	板井英朗	
ドラゴン	70歳以上	日向⑤	丸尾 孜 板井英朗	
	69歳以下	肥後⑦	青木一幸 漆野智康	
ニアピン	日向③	漆野智康	日向⑦	丸尾 孜
	肥後⑥	なし	肥後⑧	尾方芳樹
ハズレ	70歳以上	鳥井正徳	45・46・91	
	69歳以下	漆野智康	40・43・83	

山賀年度取り切り戦のお知らせを致します。7月14日（日）クラウンGC 10時13分スタートです。渡辺年度第1回月例会も同時開催

となります。同日夜に、ゴルフ愛好会総会を開催いたします。後日ご案内をFAX致します。

【プログラム委員会】

新入会員卓話

上田一精会員

[2012年12月21日入会 職業分類；普通銀行]



新人卓話の時間をいただき誠にありがとうございます。本日は人吉球磨地域の焼酎にテーマを絞った酒類業界の動向についてお話しします。

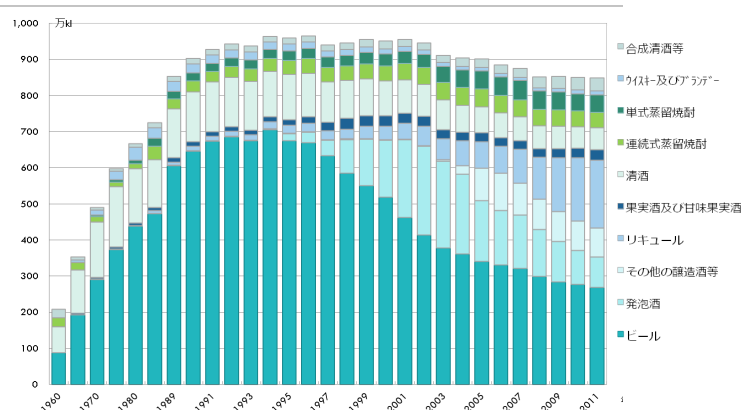
消費の変化と地域特性からみる
熊本の酒類業界

酒類の全国的消費動向

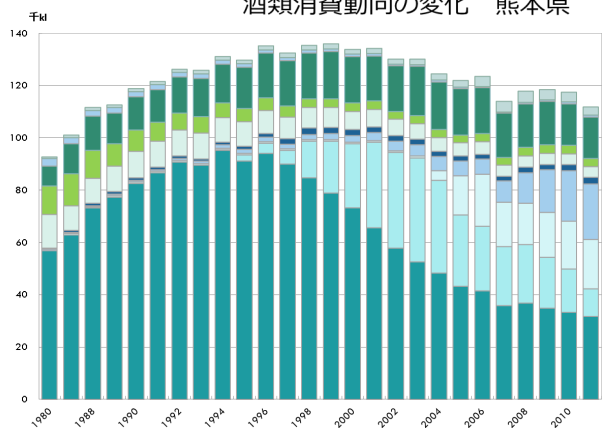
酒類の全国的消費動向を見ると1960年度にはビールと清酒がそれぞれ全体の42.1% 34.5%を占めて居たが、その後ビールが消費量を増やし1994年のピーク時には全体の73.2%を占めて居た。しかし1995年以降ビールは減少に転じ、2011年度の消費量は31.6%のシェアまで減少、

また、清酒も1975年がピークで2011年度にはシェア7.1%まで減少した。代わりに台頭したのがリキュール、発泡酒、その他醸造酒であります。

酒類消費動向の変化 全国消費量推移



酒類消費動向の変化 熊本県



また、球磨焼酎が含まれる単式蒸留焼酎の消費量推移を見ると、1980年代後半以降から徐々にシェアを伸ばし、2007年度ピーク時には全体の6.2%を占めた。以降若干の低下はあったものの下げ止まり感もあり消費量は安定している。

熊本県における酒類の消費動向

熊本県の消費量変化においても同様の傾向が見て取れる。全国消費動向と異なるのは単式蒸留焼酎の伸びで、1980年度以降一貫して消費量全体の1割以上を占め続けている。直近2011年度の消費量は、1万6,000キロリットル、シェア14.0%である。

※図表3.4

県内各地域の消費動向を分析すると、成人一人当たりの消費量が最も多い地域は人吉地域、合わせて人吉地域のみが単式蒸留焼酎の消費量が最も多い。人吉地域は鹿児島宮崎、沖縄、同様単式蒸留焼酎を最も好み、消費量も全国レベルよりはるかに多いことがわかる。

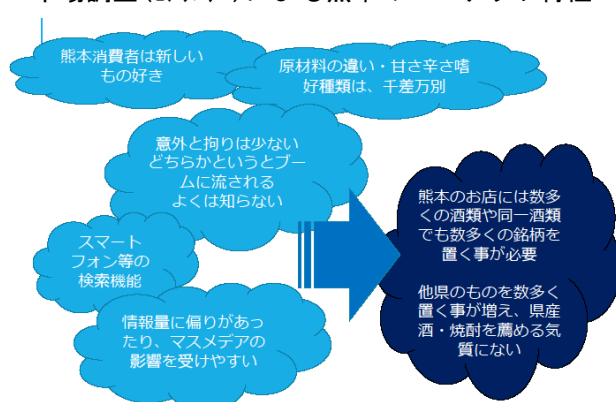
全国的消費動向を見たときに、東京、大阪のようなビール文化圏。新潟、秋田、山梨といった清酒文化圏、鹿児島、宮崎といった焼酎文化圏とに、区分できるように、熊本県における人吉は、完全な焼酎文化圏といえる。

消費動向における熊本県の県民性

ここで熊本県の消費動向を分析すると次のようなことが分かる。

熊本県民は新しい物好きで、ブームやマスメディアに流される傾向がある。拘りはあまり強くなく、雰囲気で決める処がある。宮崎や鹿児島の居酒屋では、地元の焼酎を勧めるのに対し、熊本の居酒屋は全国の清酒や焼酎を数多く品揃えしていることから県民性が窺われるところである。

市場調査(ヒアリング)による熊本のマーケット特性



蔵元のこだわりと商品テイストの多様性

次に各蔵元のヒアリングを行ったところ、すべての蔵元が【おいしい商品を丁寧にきちんと作っていく】という拘りがあり、実に数多くの銘柄、テイストが存在する事がわかる。

図表3 県内税務署管内別酒類別にみた成人1人当たり消費量(2010年度) 単位ℓ

税務署名	ビール	発泡酒	その他の醸造酒等	リキュール	果実酒及び甘味果実酒	清酒	連続式蒸留焼酎	単式蒸留焼酎	ウイスキー及びブレンダー	合成清酒等	合計	税務署名
熊本県計	22.7	11.4	12.7	13.2	1.5	2.9	2.2	10.9	0.5	2.2	80.1	熊本県計
熊本・宇城・山鹿	24.1	11.9	11.7	14.3	2.0	3.1	1.9	10.0	0.6	2.6	82.2	熊本・宇城・山鹿
八代	22.7	10.4	14.0	11.5	0.9	2.4	2.3	10.0	0.3	2.0	76.7	八代
人吉	16.2	12.7	22.0	12.7	1.0	1.4	1.5	23.8	0.3	1.3	92.9	人吉
玉名	19.4	9.7	9.7	11.3	0.7	2.8	2.1	9.4	0.4	1.5	66.8	玉名
天草	24.0	10.2	15.0	9.4	0.6	2.2	4.3	10.1	0.3	1.8	77.8	天草
菊池	18.9	12.2	14.4	15.4	1.2	2.8	2.4	10.8	0.5	1.7	80.1	菊池
阿蘇	26.8	8.7	10.3	9.6	1.1	5.1	2.7	12.2	0.3	1.8	78.6	阿蘇

資料：熊本国税局「税務署別販売(消費)数量」、成人人口は熊本県「2010年 国勢調査」

図表4 酒類別にみた成人1人当たり消費量(2011年度) 上位の都道府県 単位：ℓ

	ビール	発泡酒	その他の醸造酒等	リキュール	果実酒及び甘味果実	清酒	連続式蒸留焼酎	単式蒸留焼酎	ウイスキー及びブレンダー	合成清酒等	合計	合計の順位
全国計	25.6	8.0	7.7	17.8	2.8	5.7	4.1	4.6	1.0	3.5	80.9	-
熊本	21.6	7.2	13.1	14.4	1.7	2.8	2.1	10.7	0.5	2.1	76.2	28位
単式蒸留	鹿児島	18.2	11.7	13.0	12.1	1.2	0.7	26.6	0.3	2.0	86.9	12位
	宮崎	19.4	12.2	15.4	13.2	2.0	1.5	20.6	0.4	1.7	88.6	8位
	沖縄	20.5	20.7	8.6	29.3	2.5	1.1	13.9	0.4	3.1	100.3	2位
清酒	新潟	29.3	9.6	7.4	21.0	2.2	14.3	5.6	2.7	4.4	97.6	3位
	秋田	26.8	8.9	8.8	21.5	1.9	10.1	8.5	2.7	3.7	94.3	7位
	山梨	26.3	6.4	7.5	15.4	8.5	8.8	5.8	4.4	3.0	87.2	10位
ビール	東京	44.3	7.3	6.9	20.9	7.0	6.4	4.0	1.8	5.3	110.0	1位
	大阪	32.0	11.2	9.3	23.2	3.4	4.9	5.1	1.1	4.7	97.2	4位
	高知	29.5	17.9	10.2	17.5	1.4	6.5	3.4	4.9	0.7	95.7	5位

資料：図表1に同じ。成人人口は総務省「人口推計年報(2011年10月1日現在)」

地場産業としてのポテンシャル

商品開発のポイントは

- 1 安心安全
- 2 おいしい
- 3 便利利便性
- 4 健康思考
- 5 話題性

であり、高付加価値少量生産である。

この点を考える時、人吉地域には250年の歴史を誇る蔵元もあり、伝統的製造手法に対しても再評価されやすい、また蔵元の立地は原材料となる米、水に恵まれた地域の証とも言え、地域の農業との連携も強まって、雇用や地域への貢献も期待出来る。さらに焼酎は、冠婚葬祭や地域行事と長年に渡って関わっており人吉地域の文化である。

こうした長年の時間を経た価値や地域とのつながりは、地域の独自性個性を考え、域外からの交流人口を増やす上で貴重な資源となる。

人吉地域には、アパレル業界においてHITOYOSHI株式会社、また五木には、やまうに豆腐で有名な五木屋本舗の様なユニークな企業が存在する。引き続き、人吉の伝統と文化に根差した企業の台頭が待たれる処である。

以上です。お付き合い頂きありがとうございました。



図表5 県内の主な酒類製造メーカー、工場

酒類	No.	会社名	所在地	創業年	酒類	No.	会社名	所在地	創業年
清酒	1	千代の園酒造(株)	山鹿市	1896	焼酎	14	(資)松本酒造場	あさぎり町	1908
	2	河津酒造(名)	小国町	1932		15	(資)高田酒造場	あさぎり町	1902
	3	花の香酒造(株)	和水町	1902		16	(資)宮原酒造場	あさぎり町	1896
	4	(株)熊本県酒造 研究所	熊本市	1909		17	常楽酒造(株)	錦町	1912
	5	室原(名)	南小国町	1897頃		18	六調子酒造(株)	錦町	1923
	6	瑞鷹(株)	熊本市	1867		19	(株)鳥飼酒造	人吉市	江戸期
	7	亀萬酒造(資)	水俣市	1916		20	(同) 湊田酒造場	人吉市	1878
	8	火の国酒造(株) (旧美少年酒造)	熊本市	1879		21	織月酒造(株)	人吉市	1903
	9	通潤酒造(株)	山都町	1770		22	球磨焼酎(株)	人吉市	1962
	10	山村酒造(名)	高森町	1762		23	(資)寿福酒造場	人吉市	1890
焼酎	1	(資)大石酒造場	水上村	1872	24	(資)福田酒造商店	人吉市	1935	
	2	(有)松下醸造場	水上村	1804	25	深野酒造(株)	人吉市	1823	
	3	(有)林酒造場	湯前町	江戸中期	26	(株)白岳酒造研究所	人吉市	1900	
	4	(名)豊永酒造	湯前町	1894	27	(資)大和一酒造元	人吉市	1952	
	5	(株)恒松酒造本店	多良木町	1917	28	(有)湊田酒造本店	球磨村	1869頃	
	6	抜群酒造(資)	多良木町	1923	29	田苑酒造(株) 熊本工場	鹿央町	1890年 (本社)	
	7	(資)宮元酒造場	多良木町	1810	30	(名)天草酒造	新和町	1899	
	8	房の露(株)	多良木町	1907	31	メルシャン(株)八代工場	八代市	1939	
	9	木下醸造所	多良木町	1862	32	山都酒造(株) (旧藤正宗酒造)	山都町	1821	
	10	(有)那須酒造場	多良木町	1917	その他	1	(株)福田農場ワイナリー	水俣市	1987
	11	高橋酒造(株) 多良木工場	多良木町	1900		2	熊本ワイン(株)	熊本市	1899
	12	(株)堤酒造	あさぎり町	1878		3	サントリー九州熊本工場	嘉島町	2003
	13	松の泉酒造(資)	あさぎり町	1875					

資料：熊本県酒造組合連合会HP、球磨焼酎組合酒造組合「球磨焼酎～本格焼酎の源流から」、各社HPより作成

【雑誌委員会】

ロータリーの友6月号紹介

紹介者 青木一幸会員

それでは時間も押しているようですので、私の方から「ロータリーの友」6月号について、特に興味深く読ませていただいた部分を掻い摘んでご紹介させていただきます。

まずは、縦書きのパートからご紹介いたします。17頁の「未来のロータリーのために 2013年規定審議会レポート」をご覧ください。ここでは、今般の規定審議の結果やその経緯等がまとめられていますが、(この点については、一部すでに会長やパスト会長からもお話しがありご存知の方には繰り返しになるかもしれませんが)なかでも「例会の開催回数」と「専業主婦

の入会」について記載されている箇所は、是非皆さんにご一読いただければと思います。

「例会の開催回数」については、毎週か隔週かが常に議論になるようですが、新年度も毎週開催に変更はありません。ただ、面白いのはそのような決定に至った背景で、①欧米では、出席率目標を下限値の50%に置くメンバーが多いこと、②毎週開催で50%の出席率であれば、計算上は隔週出席で100%の出席率と同じとの認識があること、③仮に隔週開催となれば、場合によっては、あるメンバー同士が1か月以上顔を合わせない事態が頻出することも懸念されること、等から変更なしとの結論に至ったというものです。まさに、(出席率は上限値の100%を目指すなど)何事にも厳格な日本人と、実利的視点からもう少し緩やかな解釈で物事を捉えようとする欧米人との、ある種の文化的な違いが顕著に表れている審議ではなかったか、と思います。

「専業主婦の入会」が認められるようになったことも、今回の規定改定の画期的なところですが、むしろ私が注目したのは、それが現行の女性メンバーからの強い要請で認められたという事実です。少し例えは違うかも知れませんが、我が国における社会保険の議論では、3号被保険者（専業主婦）に対して、家事をしながら会社にも勤め社会保険料を自己負担しているいわゆる女性の2号被保険者から、しばしば保険料負担の不公平性について疑問が投げかけられます。勿論、家事子育てをしてくれる専業主婦は、ある意味重要な社会インフラ的存在であるということをも十分理解した上での主張ではあるのですが、そうした日本の事情にも照らし合わせた時、今回の「専業主婦の入会」が認められた経緯は、個人的には少々驚きでした。

次に、横書きのパートについてご紹介いたします。7頁の「この人、この仕事」をご覧ください。ここでは、青森在住の世界的臨床病理医の方が紹介されています。前半部分は、彼とその夫人の馴れ初めに関わる“ちょっといい話”ですので一読いただければと思いますが、私が面白いと感じたのは、後半部分の、彼が青森の五所川原市に住むようになったきっかけの箇所でした。

美味しい食べ物と（温泉を含めた）豊かな自然」は当然のこととして、その地に居を構えることになったもう一つの理由は、津軽地方の「人のやさしさ」だったようで、その一例として、市役所で各種手続きをした際に役所の方が係を順に案内して手助けしてくれた、というエピソードがあげられ、「こんなことは、アメリカでは思いもよりません」という本人のコメントが載せられています。

少なくとも私達が住むこの人吉では、不案内な外国人の方にそうした気遣いをするのは、それほど特別なことではないように思われます。しかし、外国の方にはそれが存外、特別なもてなしと感激されるようです。「おもてなしの心」と特に肩ひじを張らなくても、普段どおりの振る舞いをしていればそれだけで、この人吉も世界的にはホスピタリティの高い地域として認知される可能性がある、ということではないでしょうか。

以上、駆け足になりましたが、「ロータリーの友」6月号の紹介を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱委員会】 片岡忠雄委員

- ・高山会員 古稀のお祝いを頂きありがとうございました。
- ・大久保会員 喜寿のお祝いありがとうございました。
- ・浦田会員 傘寿の祝いをして頂きありがとうございました。
- ・山口会員 5/31喜寿のお祝いをして頂き感謝

しております。お礼にニコニコします。

- ・友永会員 還暦のお祝いありがとうございました。
- ・板井会員 喜寿のお祝いをして頂き、ありがとうございました。今後は傘寿に向けて頑張ってください。
- ・漆野会員 先週、賀寿祝の方々のお払いに便乗して厄晴れのお祓いをして頂きました。お陰様で、おそらく何もなく厄年を過ごすことができました。
- ・ ” 塚本先輩に無言で渡されました。ゴルフ賞品ありがとうございました。
- ・堤脩会員 何年振りか忘れましたが、ゴルフで優勝させていただきました。同伴者に感謝いたします。
- ・塚本会員 誕生祝いありがとうございました。当日賞で今日、とうとう50歳になりました。
- ・葉山会員 誕生日を祝って頂きありがとうございました。中間納税の悩で、祝の字を間違えそうになりました。今年、55歳になりました、G o G o。（先週の）歳祝いの皆様、おめでとうございました。
- ・岩本会員 賀寿会当日は鹿児島で泊りの法事があり、出席できず申し訳ありませんでした。
- ・北会員 早退します。
- ・浅野幹事 出張のため早退します。

点 鐘 渡辺洋文副会長

山賀年度活動記録（人吉RC広報委員会）

<http://hrcyamaga.jimdo.com>

是非ご覧ください